

## 第3章 第3次計画における施策の方向と具体的な取組

### 1 誰もが等しく学べる、豊かな資料と機能を持つ図書館

#### (1) 市民の日常生活、学習活動に寄与する、質・量ともに充実した資料を持つ図書館

##### 〔課題〕

「防府立防府図書館資料収集要綱」と「防府市立防府図書館資料保存及び除籍要綱」に基づき、資料を充実させることは、図書館の使命の一つです。図書館には、乳幼児から高齢者まで、幅広い市民のニーズに応えるために、多くの資料を備えることが重要です。

多様化・高度化する市民のニーズを適切に把握しながら、図書館における限られた資料の保存スペースを有効活用できるようにするため、資料をバランスよく収集・整理・保存・除籍・更新し、適正な管理と効果的な運用に努める必要があります。

##### 〔取組の方向性〕

- ◎「防府市立防府図書館資料収集要綱」に基づき、本市の特色を生かした資料の収集に努め、利用者のニーズに対応した幅広い分野の資料の充実・提供に努めます。
- ◎「防府市立防府図書館資料保存及び除籍要綱」に基づき、資料の保存と廃棄について、持続可能な収書方法の検討を続けていきます。
- ◎電子書籍のニーズが年々高くなっているため、紙の本と電子書籍の割合を注視しながら、効果的な資料の購入に努め、周知を図ります。

##### 〔主な取組〕

- ★要綱に基づく適正な資料の収集・保存・廃棄等の実施
- ★電子書籍の充実
- ★電子図書館の体験会開催などの利用促進とサービスの周知

## **（２）老若男女を問わず、様々な立場の人が、誰でも気軽に楽しく利用できる図書館**

### **〔課題〕**

図書館のサービスや行事、イベントに興味を持ってもらい、誰でも気軽に図書館を利用したいと思えるような魅力的な情報発信を行うとともに、これまでの広報手段及び内容を見直して、こどもから高齢者まで幅広い世代に、図書館が生活に役立つ施設であることを認識してもらうことが重要です。

また、多様な目的を持って来館する利用者のため、図書館員は、その目的が達成できるよう、きめ細やかなサービスを提供することが大切です。

さらに、コロナ禍で遠のいた利用者、気持ちの良い接遇や環境整備等を通じて、図書館の居心地の良さを再認識してもらうことが必要です。そのため、設備の点検や備品の更新、書架などの環境整備を適切に行い、図書館が安全・安心に配慮した施設であり、個々の目的が達成できる場所であると周知することが求められています。

### **〔取組の方向性〕**

- ◎広報紙等の定期的な刊行やインターネット等を活用した情報発信を積極的かつ計画的に進め、広報の手段や内容を見直す等、図書館サービスのさらなる周知に努めます。
- ◎気持ちの良い接遇と環境整備を心掛けるとともに、カスタマーハラスメント対策にも努め、利用者サービスに徹します。
- ◎利用者の安全確保のために、防災上及び衛生上必要な設備を整え、施設の維持・管理をするとともに、情報セキュリティの確保などの安全対策にも努めます。

### **〔主な取組〕**

- ★市広報やホームページ、SNS等の内容充実と情報発信の強化
- ★報道への広報強化やマスコミ活用の拡充
- ★新たな広報活動についての検討
- ★安全管理・危機管理体制の日常的整備と強化
- ★利用記録等の秘密厳守と基本的人権やプライバシー保護の徹底
- ★図書館員のコミュニケーション能力の育成と向上

### 〔3〕 図書館から遠い所に住んでいる人にも、サービスできる図書館

#### 〔課題〕

移動図書館車「わっしょい文庫」や貸出文庫・地域文庫などの広域サービス、また非来館型サービスの電子図書館については評価を得ているため、図書館を利用したことのない人へも利用の促進につながる取組が必要です。

特に、依頼のあったイベントに図書館員や移動図書館車が出掛けていく出張サービスは、市民に「おはなし会」や移動図書館車が認知される絶好の機会です。そこで得た読書の楽しさが、その後の図書館利用や読書活動等につながるよう求められています。

また、電子図書館については、電子書籍の貸出状況や利用ニーズの把握に努め、資料の拡充が望まれています。さらに、こどもたちが同じ本を複数人で読むことができるよう「児童書読み放題パック」を導入し、手軽に始められる読書として期待されています。

#### 〔取組の方向性〕

- ◎移動図書館車や貸出文庫・地域文庫を含む、広域サービスの充実に努めます。
- ◎出張サービス（「出前おはなし会」、「わっしょい文庫」など）の周知に努めます。
- ◎電子図書館については、利用者ニーズの把握に努め、効果的な資料の収集・提供体制についても検討します。

#### 〔主な取組〕

- ★移動図書館車「わっしょい文庫」や貸出文庫・地域文庫のサービスの充実と周知
- ★出張サービスに関する広報活動の拡充
- ★電子図書館の資料充実と体験会開催などのサービスの周知

#### **（４）調査・研究・読書相談などに、的確に対応できる図書館**

##### **〔課題〕**

図書館員が利用者の要求を捉え、高度なレファレンスサービスを提供するためには、蔵書構成についての十分な知識が必須です。

また、生成A Iをはじめとする情報技術革新が急速に進展しており、図書館もその活用方法について主体的に考える必要があります。図書館サービスを支える職員自身が、生成A Iをレファレンスサービスの手段のひとつになり得るものと考え、主体的に学び、館内で十分に検討して、その利活用を図っていくことが重要です。

さらに、図書館の蔵書に対する知識だけではなく、利用者の要求を的確につかむためのコミュニケーション能力を含むレファレンス技術の習得やレフェラルサービス(※18)など、職員の資質向上が求められています。また、その任務について、利用者への周知が必要であると考えられます。

##### **〔取組の方向性〕**

◎利用者からの問合せに、的確に回答できるフロアワークに努め、専門的な質問にも対応できるよう職員の研修を強化します。

◎読書・学習支援のため、読書案内等の作成や掲示の工夫に取り組みます。

◎他の図書館や関係機関等との連携による資料・情報提供サービスの強化に努めます。

◎様々なリスクや懸念が指摘される一方で、社会生活に組み込まれる生成A Iなどの新しい情報技術について、レファレンスサービスの手段として調査・研究をします。

##### **〔主な取組〕**

★レファレンスサービス充実のための職員研修の強化

★読書案内・読書相談サービス、ブックリストやパスファインダー(※19)の作成

★レフェラルサービスの強化

★利用者とのコミュニケーションを図るフロアワークの充実

★図書館のレファレンスにおける生成A I等、新たな情報技術の活用についての調査・研究

## 2 地域の人々と手を携えて、豊かな交流の場を創る図書館

### (1) 様々な図書館事業を利用者と協働して行い、学習交流の場、コミュニティセンターとしての機能を持つ図書館

#### 〔課題〕

図書館では、「防府図書館まつり」や「防府市子ども読書フェスティバル」を始めとしたさまざまなイベントを行っています。市民にも定着してきており、毎年、心待ちにされている方も多くいる催し物となっています。

今後も、利用者と協働しながら、豊かな交流の場を創っていくためには、駅前やルルサス、アスピラートでのイベントとタイアップして、集客力を向上させたり、内容に変化をもたせたり、飽きさせない工夫をすることが大切です。

また、協働している人の世代交代の時期が来ていることも課題となっていることから、集客力のある企画を用意して、広く市民の参加意欲を高める必要があります。

#### 〔取組の方向性〕

◎アクティブシニア(※20)を始めとした新たな人材の発掘と養成、スキルアップに努めます。

◎図書館で行われるボランティア活動について興味を持ってもらえるよう、様々な手段による活動への呼びかけ、また希望者が独りでも参加したくなるような仕組みづくりに取り組みます。

#### 〔主な取組〕

- ★広報紙等の定期刊行物やインターネット等を活用した積極的な情報発信の強化
- ★報道への広報強化やマスコミ活用の拡充
- ★新たな広報活動についての検討
- ★防府図書館まつりと防府市子ども読書フェスティバルの内容充実

## **（２）学習ボランティアや、障害のある利用者のためのボランティアが、いきいきと楽しく活動できる図書館**

### **〔課題〕**

ライフスタイルや価値観等の変化は、ボランティアの新規加入者の減少を引き起こし、人材の固定化や高齢化が深刻な課題となっています。また、新たなボランティア団体の発足が困難な状況です。

さらに、長年活動していたボランティアサークル同士の交流を図る場となっていた「防府図書館ボランティアサークル連絡会議」が休会になったことから、今後、新たな形で、図書館を拠点として、いきいきと活動できるようなボランティア同士のつながりづくりが求められています。

また、令和６年度は、図書館の照明器具をＬＥＤにするため、通常であれば２月に開催していた「図書館ボランティア養成講座」を夏休みに開催したところ、中学生・高校生の参加があったことから、内容やスケジュール等の見直しも含めて、再検討が必要です。

さらに、図書館が要請に応じて職員を派遣し、ボランティア主催のお話会や研修でブックトークをする等、ボランティアとの連携・支援を強化する必要があります。

### **〔取組の方向性〕**

- ◎新たなボランティアの育成と交流を進めます。
- ◎「図書館ボランティア養成講座」の内容や企画を見直します。
- ◎ボランティア団体との協働を強化します。

### **〔主な取組〕**

- ★ボランティア交流のための場や機会の創出と展開
- ★「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実、参加者の拡充
- ★お話会やブックトークなどを開催するボランティアとの連携・支援の強化

### 3 生涯学習活動の拠点として、集会文化活動に力を入れ、地域の力を高める図書館

#### (1) 様々な図書館行事を積極的に行い、地域の文化発展に貢献する図書館

##### 〔課題〕

図書館は、「防府図書館まつり」や「防府市子ども読書フェスティバル」を代表に、「さんさんおはなし会」や「月いちキネマ」、また館内で音楽会と朗読会を開くなど、年間を通して、図書館独自の様々な企画や行事を多数行っています。新たなイベントに取り組むことも大切ですが、現在行われている行事を見直し、バージョンアップを図り、集客力の向上を検討する必要があります。

また、利用者へのアピールとして、幅広い世代に対応して様々な展示を行っており、今後も継続していくことが大事ですが、年間80回以上開設する展示コーナーについては、職員の負担になりすぎないように計画的に実施していく必要があります。

さらに、利用者の客観的な意見や提言を聞く機会になっている「防府図書館利用者懇談会」については、今後も継続することが望まれています。

##### 〔取組の方向性〕

◎季節や時機を捉えた展示など、市民の興味やニーズに沿った展示コーナーを適切に設置します。

◎計画的な図書館行事の開催と内容の充実に努めます。

◎行事への参加が少ない中・高・大学生のために、企画・時期の見直しやアピール方法を検討します。

##### 〔主な取組〕

- ★図書館資料展示の充実
- ★図書館行事の見直しと計画的な実施
- ★図書館行事への若者参加についての取組
- ★「防府図書館利用者懇談会」の継続開催



「月いちキネマ」の様子

## **（２）生涯学習グループ活動を奨励し、その育成を図る図書館**

### **〔課題〕**

生涯学習グループの状況についても、ボランティアと同様に、参加者の固定化及び高齢化が進んでいるという課題があります。

市民の興味・関心を高め、生涯学習活動の楽しさとやりがいなど、ウェルビーイングに繋がる取組であることを広報する必要があります。特に、アクティブシニア層には、これまで培ってきた趣味や技能を発揮できる場として、図書館が役立つことを知ってもらうことが大切です。

また、活動紹介により新メンバー加入やグループの活性化、さらにグループ同士の出会いから、新たに発展する生涯学習活動への支援をしていく必要があります。

### **〔取組の方向性〕**

- ◎新しいグループの発足のための場や機会の提供と広報など活動の支援に努めます。
- ◎図書館で活動しているグループのイベントや広報など、その活動支援を強化します。
- ◎若い利用者から、アクティブシニア層までを取り込んだ会員の増加を目指します。

### **〔主な取組〕**

- ★新しい生涯学習グループの活動支援
- ★既存のグループの活動紹介や支援を強化
- ★会員増加のための広報活動の強化

## 4 地域の歴史や文化を大切にするとともに、国際理解を深めていく 図書館

### (1) 地域（郷土）資料を、積極的に収集・整理・保存・提供する図書館

#### 〔課題〕

郷土に関する資料は多岐にわたるため、図書館員には、郷土の歴史や文化への造詣を深めることが求められており、図書館が地域の情報センターとしての役割を果たしていくためには、地域の特徴を踏まえたテーマに関する資料収集が必要です。

また、紙媒体での出版物が減少している現在では、地域(郷土)資料の出版情報を入手することが困難になってきています。今後もこの傾向が進むと考えられるため、デジタル資料等を含む、地域(郷土)資料の収集・保存・提供(展示等)は、図書館の重要な責務になっていくと考えられます。

#### 〔取組の方向性〕

◎山口県に関係する人物や事柄について、特に防府市に関するものは、図書館のコレクションとして、積極的に保存をすることが望ましいため、迅速に出版情報をつかみ、収集します。

◎郷土資料の的確な提供のため、所蔵資料の内容把握と、職員研修に取り組みます。

#### 〔主な取組〕

- ★地域の特性を反映した資料構成(コレクション)のための積極的な郷土資料の収集
- ★地域行政関係資料の積極的な収集・整備
- ★郷土出身者の著作物の積極的な収集・整備
- ★郷土史、郷土文学の職員研修の充実

## （２）地域（郷土）の歴史や文化に係る事業を積極的に行う図書館

### 〔課題〕

地域の歴史や文化、郷土出身の文学者、研究者、芸術家等に関する資料については、出身地の図書館が可能な限り収集することが責務と考えられています。そして、その歴史や功績などについては、広く情報発信に努める必要があります。

また、防府図書館前身の三哲文庫の創設者・上山満之進翁の顕彰と「三哲文庫」の事績を後世へ継承することも、引き続き行っていくことが望まれます。

### 〔取組の方向性〕

◎防府史料の刊行継続と電子書籍化に努めます。

◎郷土史や郷土文学、郷土の偉人について紹介したり、歴史や功績等を展示したりするとともに、パスファインダーの作成等による情報発信に努めます。

◎上山満之進翁の顕彰のため、関連資料の収集、展示等の情報発信に努め、展示室の定期的な資料展示替えを行い、図書館見学者への案内など周知に取り組みます。

### 〔主な取組〕

- ★防府史料の刊行継続・電子書籍化
- ★郷土史や郷土文学に関わる資料や情報の発信
- ★上山満之進翁の顕彰と三哲文庫の事績の継承



上山満之進の部屋



上山満之進翁胸像

### **（３）姉妹都市などの図書館との交流事業を推進し、国際理解を深めるための資料を積極的に収集・整理・保存・提供する図書館**

#### **〔課題〕**

姉妹都市である大韓民国春川市立図書館との資料交換協定を締結して以来、毎年ほぼ100冊程度の図書を相互に寄贈し合っており、今後も交流が継続し、相互理解が深まることが望まれます。

また、情報通信技術等の進展により、グローバル化が加速し、国境を越えたつながりが拡大していく中で、利用者が国際理解を深めるためには、様々な国の資料収集をすることが大切です。同時に、市内に在住する外国の方も図書館を利用しやすいよう環境の整備と広報活動が期待されています。

#### **〔取組の方向性〕**

- ◎春川市立図書館との資料交換を継続し、有効活用に努めます。
- ◎利用者の国際感覚、国際理解のための関係資料の収集に努めます。
- ◎市内に暮らす外国の方が図書館を利用しやすい環境の整備に取り組みます。

#### **〔主な取組〕**

- ★春川市立図書館との交流の継続と資料コーナーの有効活用
- ★外国語の図書、新聞、雑誌等の収集・提供
- ★日本語・日本文化学習のための資料、情報、機会等の提供
- ★日本語を母語としない方への図書館利用の促進

## 5 様々な教育文化施設とのネットワークを進め、サービスする図書館

### (1) 学校や公民館との連携を深め、支援事業・協力事業を推進する図書館

#### 〔課題〕

中学生から本離れが進む実情があるといわれていますが、図書館における、ここ数年の中学生と高校生の貸出者数(延べ人数)は、増加傾向にあります。ただし、利用冊数が少ないことが問題です。中学生までは、図書館が学校図書館を支援する方法があり、資料の提供や支援が可能です。高等学校との連携には、課題があるといえるため、今後も様々な検討をしていく必要があります。

また、公民館に設置してある地域文庫については、令和6年度から利用人数、冊数ともに減少に転じています。そのため、ルルサス防府の図書館まで足を運ぶことなく、返却や貸出ができる等の地域文庫の利便性についての周知を図り、利用の促進に努めていくことが必要です。

#### 〔取組の方向性〕

◎学校図書館とのネットワークの有効活用による学校支援体制の拡充を図ります。

◎学校や公民館、児童館への団体貸出や出張講座などの出張サービスについて広く周知し、さらなる支援・協力体制を整えます。

#### 〔主な取組〕

- ★学校図書館とのネットワークを活用した学校支援業務の継続と推進
- ★出張サービスを含む学校教育活動、学校図書館の支援・連携・協力
- ★学校司書の研修の機会や場の提供
- ★学校、児童館等への団体貸出(貸出文庫)、出張サービスの拡充
- ★公民館との連携強化による地域文庫サービスの継続と広報の充実

## （２）他の図書館や博物館・美術館との相互協力を推進する図書館

### 〔課題〕

図書館には、利用者の求める資料は、原則として可能な限り提供するという使命があります。利用者の多種多様なニーズに応えるためには、自館の資料・情報だけでは十分対応できないため、引き続き県内外の図書館等との連携強化が必要不可欠です。

また、防府市文化振興財団内の連携による企画展示等が評価されている一方で、市文化財郷土資料館やその他の文教施設との連携・協力を強化することが期待されています。特に、ルルサス防府を中心とした駅周辺の連携と協力が望まれています。

### 〔取組の方向性〕

◎県内外の図書館を始めとする関係諸機関と連携し、資料の収集・提供に努めます。

◎財団内連携や他の教育施設等とも連携し、様々な企画や展示を催し、利用者へのサービス向上に努めます。

### 〔主な取組〕

- ★資料相互貸借の推進
- ★レファレンス協力、レフェラルサービスの推進と周知
- ★文献複写サービスなど、他館との連携・協力
- ★他機関との連携による企画展示などの開催



## 6 こどもたちの読書活動を進めていく図書館

### (1) こども読書活動推進を図るための研究と事業を、積極的に行う図書館

#### 〔課題〕

図書館は、こどもたちの年齢や社会背景、またこどものニーズに応えられるよう様々な資料の充実・情報提供サービスに努め、こどもたちが生活の中で、楽しんで読書をするこ  
とのできる利用環境を整備、支援していく必要があります。

また、こどもの読書活動の推進の一環として、図書館員が必要に応じて、啓発のための  
行事や企画、広報活動を強化する必要があります。

さらに、「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」への参加支援のための取組を  
継続して行う必要があります。

#### 〔取組の方向性〕

- ◎フロアワーク等を通して、こどもたちの読書ニーズや傾向を把握し、豊かな読書活動  
のための支援ができるよう資料の充実に努めます。
- ◎こどもたちが心豊かに健やかに成長できるよう、年齢や状況に応じた多様なニーズに  
対応できる環境の整備を図ります。
- ◎資料情報活用能力など、生きる力を育成するための調べ学習を推進します。
- ◎専門的な立場から、こどもたちに本の楽しさを伝える活動に努めます。

#### 〔主な取組〕

- ★こどもの年齢に応じた多様な読書ニーズに対する幅広い資料の充実と環境整備
- ★こどもへのレファレンスサービスとフロアワークの質的向上
- ★市の関係部署等行政機関との連携強化
- ★「防府市図書館を使った調べる学習コンクール」の実施
- ★児童サービス向上のための職員研修
- ★こども読書啓発のための行事・企画と広報活動の強化

## （２）こども読書活動推進のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

### 〔課題〕

幼児期の早い時期から本に親しむ機会を提供することが大変有効なことから、こどものためのボランティア活動の推奨及びボランティア団体との連携・協働を図り、関係を深めることや活動の支援が求められています。

### 〔取組の方向性〕

- ◎「図書館ボランティア養成講座」は、幅広いニーズに対応できる内容にします。
- ◎ボランティアとの協働を強化し、こどもの読書活動に係る図書館ボランティアへの機会や場所、設備、資料や情報等の提供などを積極的に行います。

### 〔主な取組〕

- ★「図書館ボランティア養成講座」の内容の充実
- ★こどもの読書活動に係る図書館ボランティアへの支援強化
- ★ボランティア活動についての積極的な広報を実施



こども図書館員



読書感想文教室

## 7 障害者や高齢者に優しい図書館

### (1) 障害者や高齢者が、気軽に楽しく簡単に利用できる図書館

#### 〔課題〕

障害者や高齢者が図書館を利用できるように、点字図書、大活字本、触る絵本や視聴覚資料を収集・整備し、提供することが必要です。

また、図書館には、老眼鏡や拡大鏡、拡大読書器のような、多種多様な読書補助具を用意していますが、それらの利用が限定的であることが課題とされています。

令和元年(2019年)6月に「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(読書バリアフリー法)が制定されており、図書館は、障害の有無に関わらず、すべての図書館利用者に快適な読書環境を提供できるよう整備し、情報提供に努め、利用促進を図るためのサポートを継続していくことが重要です。

さらに、来館が困難な利用者に対して、電子図書館や移動図書館、郵送貸出サービス等、図書館には様々なサービスがあり、生涯を通じて読書に親しむ環境を提供する環境が整えられていることについての周知をすることが大切です。

#### 〔取組の方向性〕

- ◎点字図書、大活字本、触る絵本や視聴覚資料等、多様な図書資料の収集・整備・充実に努めます。
- ◎図書資料や福祉機器等の配置についての広報と利用促進に努めます。
- ◎防府図書館障害者等用サービス「ひなぎくネット」全般の利用促進と広報に努めます。
- ◎障害者や高齢者のニーズを把握し、読書環境の整備に取り組みます。
- ◎高齢者向けのイベントを開催し、読書活動を通じて交流を深め、生きがいや喜びを見いだせるサービス環境の整備に取り組みます。

## 〔主な取組〕

- ★点字図書、大活字本、触る絵本や布絵本、視聴覚資料、読書補助具等の整備・充実
- ★「ひなぎくネット」のサービス内容について周知
- ★高齢者を対象にした講座・イベントの開催
- ★高齢者・障害者施設への団体貸出の広報
- ★行政機関の担当部署等と連携協力した広報やイベントの開催



りんごの棚

## （２）視覚障害者や高齢者のための対面朗読、音訳図書製作、郵送貸出などのサービスを、積極的に行う図書館

### 〔課題〕

防府図書館障害者等用サービスである「ひなぎくネット」のパンフレットやポスター等を公民館や社会福祉事業団等の関係各所に設置し、広報をしていますが、対面朗読の利用がなく、デージー図書の貸出が伸びていない状況で、利用したい方へ情報が行き届いていないことが課題です。こうした環境が整っているにもかかわらず、必要とする方に情報が届きにくい傾向があることから、当事者だけでなく、その支援者・介助者など周囲の方へも届くよう、その方法について検討していく必要があります。

### 〔取組の方向性〕

- ◎ボランティア等との連携協力に努めます。
- ◎行政機関の担当部署等と連携し、関係機関への広報を強化します。

### 〔主な取組〕

- ★ボランティア等と連携協力した点訳資料、音訳資料、布絵本等の制作
- ★対面朗読、視覚障害者用郵送貸出等のサービスの周知と推進

## （３）障害のある利用者のためのボランティア活動を奨励し、その育成を図る図書館

### 〔課題〕

図書館は、資料・情報・場所・設備等の提供などを通じて、障害のある利用者のためにボランティア活動をしている団体への支援を強化する必要があります。

しかし、障害者のためのボランティア活動についても、ボランティアの高齢化が課題となっているため、図書館は資料や場所の提供のみならず、活動内容や意義などを広く広報し、次世代ボランティアの育成にも力を入れることが求められています。

### 〔取組の方向性〕

- ◎障害者のための図書館ボランティアの養成に努め、その活動を奨励・支援します。

### 〔主な取組〕

- ★ボランティア活動への支援(資料・場所・設備・情報等の提供など)の強化